

記者発表資料
 令和3年9月6日
 疾病・感染症対策課感染症対策班
 担当：高橋・我妻
 電話：022-211-2632

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)患者の発生等について

今般、宮城県内におきまして、新たに4名(15308~15311例目)の新型コロナウイルス感染症患者が確認されました。患者の概要は以下のとおりです。

1 新規患者の概要

No	年代	性別	職業	居住地	発症日	症状	陽性判明日	接触歴	療養状況	重症	その他
15308	50代	男性	自営業	多賀城市	8/28	あり	9/5	調査中	入院中		
15309	50代	男性	会社員	名取市	9/1	あり	9/1	調査中	調整中		
15310	30代	男性	会社員	名取市	9/2	あり	9/4	調査中	調整中		
15311	50代	男性	非公表	大崎市	8/31 (採取日)	なし	9/5	あり	調整中		

※外国籍で公表に同意が得られた場合はその他の欄に「外国籍」と記載(日本国籍または非公表の場合は記載しない)。

2 療養者数等の状況

(本日15時時点)

計 (うち仙台市)		療養中									療養終了	死亡
		入院						宿泊療養	自宅療養	入院・療養先調整中		
		うち感染症指定医療機関	うち入院協力医療機関	その他医療機関								
患者	県	5,817人	565人	97人	43人	54人	0人	304人	140人	24人	5,204人	48人
	仙台市	9,478人	904人	131人	32人	99人	0人	344人	392人	37人	8,518人	56人
	合計	15,295人	1,469人	228人	75人	153人	0人	648人	532人	61人	13,722人	104人
その他	県	6人	欠番(744例目, 1196(市800)例目, 4298例目, 4688(市3050)例目, 5163(市3377)例目, 5605(市3677)例目, 6373(市4144)例目, 6504(市4240)例目, 7640(市4903)例目, 8991(市5651)例目, 9028(市5678)例目, 9929例目, 12016(市7427)例目, 12963例目, 13354例目, 14103例目)									
	仙台市	10人										
	合計	16人										
総数	県	5,823人										
	仙台市	9,488人										
	合計	15,311人										

※「死亡」は死亡後に新型コロナウイルスが検出された者も含みます。

3 病床の使用状況（本日15時時点）

（1）確保病床の状況

〈全県〉

	確保病床	
	全入院者	うち重症者
確保病床数	484床	50床
入院者数 (使用病床数)	228人	26人
使用率	47.1%	52.0%

〈仙台医療圏〉

	確保病床	
	全入院者	うち重症者
確保病床数	303床	35床
入院者数 (使用病床数)	177人	16人
使用率	58.4%	45.7%

※確保病床・・・各医療機関から報告のあった現時点で確保している病床

※入院者数（使用病床数）は、その他医療機関に入院されている方を含みません。

※本日の病床数：484床（感染症指定医療機関：244床，入院協力医療機関：240床）

（2）受入可能病床の状況

〈全県〉

	受入可能病床	
	全入院者	うち重症者
受入可能病床数	341床	36床
入院者数 (使用病床数)	228人	26人
使用率	66.9%	72.2%

〈仙台医療圏〉

	受入可能病床	
	全入院者	うち重症者
受入可能病床数	218床	22床
入院者数 (使用病床数)	177人	16人
使用率	81.2%	72.7%

※受入可能病床・・・対応人員や入退院の状況により実際に各医療機関が当日に受入可能な病床

※入院者数（使用病床数）は、その他医療機関に入院されている方を含みません。

4 変異株の確認状況（本日15時時点）

L452Rの変異がある変異株の確認状況（県分）

(A) 陽性患者数 (5/29～9/5判明分)	(B) スクリーニング件数 (B/A)	(N) 判定不能	(C) L452R陽性 (C/(B-N))
2,514件	1,209件 (48.1%) ※本日追加 16件	54件 ※本日追加 0件	1,037件 (89.8%) ※本日追加 16件

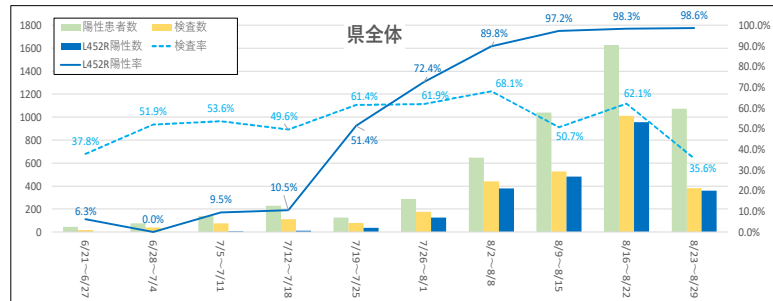
このほか、陽性判明日が5月28日以前の検体3件を検査しておりますが、L452R変異株は確認されていません。

県民へ感染対策の強化の呼びかけ

東北医科薬科大学医学部 賀来満夫特任教授など
宮城県感染症アドバイザリーボードの専門家のご意見をもとに作成

- 宮城県内では、**変異株L452R（デルタ株と疑われる変異株）の感染が拡大**し、ほぼ従来株から置き換わっている
- 変異株L452Rは非常に感染力が強く、**従来の感染対策では不十分**

※8/23～8/29の陽性患者のうち、検査を行った382件の98.6%の359件がL452R（判定不能18件除く）



感染対策として気をつけるべきポイント5点

- ① 会話の際には**1.9メートルの距離**をとり、会話の**時間は短く**する
※従来は1～1.5メートル。相手との距離を十分にとる



- ② 必ず**不織布のサージカルマスク**を着用する
※ウレタンや布のマスクは感染予防効果が低い



感染対策として気をつけるべきポイント5点

- ③ **こまめに換気**をする
※家庭用エアコンで換気はできない
冷房をしても定期的に換気をする
2箇所の窓を開け、扇風機で空気の流れをつくり、常時換気することが望ましい



- ④ 速やかに**ワクチン**を接種する
※高齢者のワクチン接種は概ね完了
次は若年者がワクチン接種を



感染対策として気をつけるべきポイント5点

⑤感染者が増加しているときは、**普段会わない人（家族以外の人）と会うのは避ける**

※最近会っていなかった友人や知人、初めて会う人との接触はできるだけ減らす

休日のそうした行動で感染しているケースが多く、休日後の感染拡大につながっている

リモートでのコミュニケーションを積極的に取り入れる



最近の感染の傾向1

感染の中心は20代～40代

家庭を持つ働き盛りの年代が感染し、

家庭内や職場で感染を広げる事例が増えている



対策① 家庭内感染の防止

- ・帰宅時の手洗いの徹底
- ・タオルを共用しない
- ・静かに食事をする。料理はできるだけ小分けにする
- ・こまめに換気をする など

対策② テレワークの推進

※職場内で感染を広げないよう、
できるだけテレワークで感染防止



最近の感染の傾向2

保育施設や児童関連施設での感染と思われる事例が増えている

主な感染対策

①窓を開けての定期的な換気（※）、②手洗いの徹底、③手が触れた場所の消毒の徹底、④体調がすぐれない場合の早めの受診などの感染対策を徹底しましょう。特に、室内で多くの子どもたちが集まる場合には、こまめな換気が重要です。

※定期的な換気とは

2方向の窓を開け、数分程度の換気を1時間に2回程度行うことが有効です。窓が1つしかない場合は、部屋のドアを開けて、扇風機などを窓の外に向けて設置すると効果的です。

